よむ。
かぞく。
はなす。
それが うちどく。

取手市では、平成30年10月から毎月23日を「取手市子ども読書の日」と定め、子どもの読書活動、特に**「うちどく」**の普及、啓発に努めています。

「うちどく」とは、読んだ本について家族で話をすることです。

取手市子ども読書の日の前後を「読書の日」と決めて、「家族で読書をする」「家族で回し読みする」「親が子どもに、子どもが親に読み聞かせをする」など、各家庭の生活に合わせて**「うちどく」**を楽しんでみませんか。

小学2年生の親子（ふじしろ図書館）

毎晩8時45分から
家族で本を読んでいます！

・・・これもうちどくだね！

『としょかんライオン』
ミシェル・ヌードセン／さく
ケビン・ホークス／え
福本友美子／やく
岩崎書店

『生きる』
谷川 俊太郎／詩
岡本 よしろう／絵
福音館書店

おふたりのお気に入りの絵本はこちら！

図書館からのうちどくおすすめ絵本は裏面で！

「ほんくる」で、市立小中学校に市立図書館の本を取り寄せられます。詳しくは図書館ホームページをご覧ください。

まず★から。なれてきたら★★、★★★も！
★の数は本のレベルを表しています

ことばあそび

ことばあそびって楽しい！四の五の言わず遊びましょ。

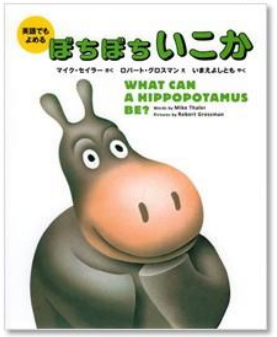
★★★

生麦生米生卵

長谷川義史／作 齋藤孝／編 ほるぷ出版

早口言葉だよ。
「生麦生米生卵」
「無理に結んだ結び目六つ」
「蛙ぴょこぴょこ三ぴょこぴょこ合わせてぴょこぴょこ六ぴょこぴょこ」
・・・どう？言えた？
言いまちがえると楽しいね！

★



ぼちぼちいこか（英語でもよめる）

マイク・セイラー／作
ロバート・グロスマン／絵
いまえよしとも／訳 偕成社

うまくいかなくても、へこたれない、おっとりかばくんの関西弁がたのしい絵本。肩の力が抜けていきます。

★★★

じゅげむ

川端誠／作 クレヨンハウス

わが子につけためでたい名は「じゅげむじゅげむごこうのすりきれ・・・」ああ長い！誰が一番に覚えるか競争してみて！

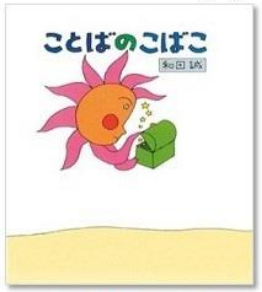
★

ぶたたぬききつねねこ

馬場のぼる／著 こぐま社

しりとり絵本。おひさま→まど→どあ→ あほうどり→りんご・・・最後は12月の〇〇〇〇〇！

★★



ことばのこばこ

和田誠／作・絵 瑞雲舎

2文字しりとり、回文など、ことば遊びの宝庫です。どのページからでもどうぞ。

★★

なぞなぞあそびうた

角野栄子／作
スズキコージ／絵 のら書店

「はなのうえにのっているふたつのまど」なーんだ？なぞなぞが57個入っています。

★

これはのみのぴこ

谷川俊太郎／作
和田誠／絵 サンリード

「これはのみのぴこ」「これはのみのぴこのすんでいるねこのごえもん」言葉がどんどん積みあがる、おはなし会でも大人気の絵本。

★★

かぞえうたのほん

岸田衿子／作 スズキコージ／絵
福音館書店

いちばでいぬが にわとりにらんだ さんまさかだち・・・など、数え歌が全部で6編。「へんなひとかぞえうた」は本当に変です！

★★★

目でみることばのずかん

おかべたかし／文
やまでたかし／写真
東京書籍

ことばを写真で見る本。表紙に並んでいるのは、どんぐりのせいくらべ。目で見て納得！

今回のおすすめ本は、「うちどく絵本リスト」（2020年10月発行）からの抜粋です。「うちどく絵本リスト」もぜひチェックを！